

《担当者名》○西郷 達雄 (t-saigo@hoku-iryu-u.ac.jp) 富家 直明 池田 宏(特別講師) 永浦 拓(特別講師) 調 仁美(特別講師)

### 【概要】

本授業はボランティアの理論と実践活動を通して、多職種連携や地域連携の理念を理解するとともに、自己理解を深め、地域に貢献する意志を有した人材の育成に寄与することを目的とし、講義ならびにボランティア体験の演習を行うものである。

### 【学修目標】

ボランティアの歴史と理論に関する基礎知識を得るとともに、医療や福祉、環境やまちづくりなど地域の諸課題を広く概観し、また実際に多職種連携を伴うボランティア活動に必要な地域貢献活動の知識を得ることによって、自己理解の深化と社会的な問題の解決への意欲を高めることを学習の目標とする。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	本講義を通してどのような活動をするか、何を学ぶか等を概観する。	西郷 達雄
2	ボランティア活動とは何か	ボランティア活動の理論と歴史を学ぶ。	西郷 達雄
3	ボランティア活動の心理的側面の理解	ボランティア活動を通じて、人間の心と行動の理解を図る。	西郷 達雄
4	ボランティア活動と社会の構造の理解	「公共」とは何か、また、情報ネットワーク社会の課題の理解を図る。	西郷 達雄
5	児童・生徒の問題とボランティア	児童・生徒に関連する問題とボランティアについて考え、必要な知識を得る。	西郷 達雄
6	学校ボランティア	北海道で行われている学校ボランティア活動の政策について理解する。	西郷 達雄 関連職員
7	高齢者の問題とボランティア	高齢者に関連する問題とボランティアについて考え、必要な知識を得る。	西郷 達雄
8	障がい者の問題とボランティア	障がい者に関連する問題とボランティアについて考え、必要な知識を得る。	西郷 達雄
9	遠隔地域における教育	遠隔地域における教育現場の現状を学び、ボランティアの可能性について検討できるようになること目的とする。	池田 宏
10	大学生によるボランティア	大学生による様々なボランティア活動とその運営方法について学ぶ。	永浦 拓
11	平和活動とボランティア	平和学習から何を学ぶのか、語り部ボランティアが求められているものを理解する。	調 仁美
12	ポストボランティア論	ボランティアを受ける側の心理的状態について考え、必要な知識を得る。	西郷 達雄
13	ボランティア演習	ボランティア活動における実践的な演習を行う	西郷 達雄 富家 直明
14	ボランティア演習	ボランティア活動における実践的な演習を行う	西郷 達雄 富家 直明
15	ボランティア演習	ボランティア活動における実践的な演習を行う。	西郷 達雄 富家 直明

### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

最終レポート80%と 毎回の小レポート20%で総合的に評価を行う。また、最終レポートのフィードバックについては、ルーブリックの導入等により客観的な評価基準を設定する。

### 【教科書】

教科書は指定しない。必要な資料を配付する。

**【参考書】**

学生のためのボランティア論（大阪ボランティア協会出版部）（2016）第5刷  
原田 隆司 著 ポスト・ボランティア論 日常のはざまの人間関係（ミネルヴァ書房）（2010年）  
大阪ボランティア協会（監）巡 静一・早瀬 昇（編） 基礎から学ぶボランティアの理論と実際（1997）

**【学修の準備】**

配付資料に基づいた予習、復習を行うこと。

< 授業時間外学修 >

予習（60～90分）：配付資料に基づいた予習、復習を行うこと。

復習（30分～60分）：学習の振り返りをし、短くまとめる。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得する、という臨床心理学科のディプロマ・ポリシーに適合している。

**【実務経験】**

科目主担当者（西郷、富家）は、公認心理師としての実務経験を有している。

**【実務経験を活かした教育内容】**

ボランティア活動に必要な臨牀的かつ実践的な知識を修得できるような教育を展開する。